

Code Orange

創刊号

地震などの大規模災害時にあなたはどこで何をしているのでしょうか。大阪府の基幹災害医療センターである当センターには、1つの課せられた責務があります。それは大阪府内医療機関の中心となり災害医療を実践することです。「一人でも多くの命を救いたい」この言葉は医療従事者である我々のまさに原点ではないかと思えます。災害時にこの研修が少しでも受講者の皆さんの自信につながれば幸いです。

第1回FERST研修開催(7月8日・9日)

第1回FERST研修(災害研修)を7月8、9日の両日医師16人、看護師24人に参加のもと開催しました。皆さん、実技演習と試験が課せられていたため、久しぶりに変な汗をかいたのではないのでしょうか(笑)この研修はできるようになるのが目的です。定期的開催しますので、何度でも何度でも挑戦してください。

まずは実技練習！みんなの真剣な表情から心の熱さを感じました。



インストラクターによる見事な実演講習

真剣な眼差しで・・・！！

みんな真面目に実技訓練！！



国試以来の猛勉強！！

苦悩の筆記試験！！

緊張の実技試験！！

用語説明: **コード・オレンジ**: オレンジは災害、救助を象徴する色です。災害発生時には院内放送でこのCall Signが宣言されます。ちなみにコード・ブルーとは『緊急事態・全員集合』の意味があります。**FERST**: 災害時などに対応できる院内の緊急支援チーム。研修では、災害時に必要な知識、実技の取得を目標としています。**トリアージ**: 多数傷病者に対し、適切かつ迅速な医療活動を展開するため緊急度に応じて傷病者を色付けします。(赤: 緊急治療群、黄: 準緊急治療群、緑: 軽処置群、黒: 救命困難群) STARTは生理学的評価で行う簡便な(30秒/人以内)トリアージ法で、PATとは生理学的かつ解剖学的評価で行う方法です。